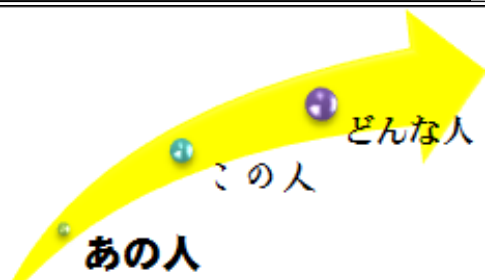


# 面舵 いっぱい

## 島浦針路通信



平成27年4月6日 初版発刊  
島浦中進学・進路関係通信社©  
面舵いっぱい：島浦針路通信  
第27号 12月18日(金)  
編集長：新名潤一



大村智さん

今年のノーベル賞で、日本の研究者の受賞が相次いで決まりました。生理学・医学賞では北里大学特別栄誉教授の大村智さん(80)、物理学賞では東京大学宇宙線研究所長の梶田隆章さん(56)が選ばれました。

大村さんは、微生物が生み出す化学物質の研究者です。大村さんは、静岡県ゴルフ場の近くで採った土の中にいた微生物から、寄生虫をやっつける物質を発見しました。この発見をもとにできた薬「イベルメクチン」は、世界中で毎年2億人以上に使われています。

大村さんは、大学を卒業後、都内の夜間高校で先生をしながら、昼間は大学院に通って勉強しました。研究者になってからは、土の中の微生物から450種類を超える化学物質を発見し、このうち25種類以上が薬や農薬に使われています。大村さんは「研究成果は微生物から力を借りただけ」と話しています。

梶田さんは、これ以上は小さく分けることができない素粒子の一種「ニュートリノ」に質量があると突き止めた功績が評価されました。ニュートリノは、なんでも通り抜けてしまいます。ごくまれに水の粒子にぶつかると、かすかな光が出ます。岐阜県飛騨市にある観測装置「スーパーカミオカンデ」は巨大な水槽を大量の水で満たし、この光をとらえます。梶田さんは観測データを分析して、ニュートリノに質量がある証拠をつかみました。



梶田隆章さん

梶田さんは、2002年のノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊さん(89)のお弟子さんです。小柴さんはスーパーカミオカンデの前の世代の観測装置で、巨大な星が最期を迎えた時の爆発で生まれたニュートリノの観測に成功しました。梶田さんは「一人でできる研究ではなかった」と話しました。

これで日本のノーベル賞受賞者は24人となります。自然科学分野での日本のレベルの高さを世界に示したといえます。(毎日新聞より)

## 3年生、私立入試願書清書

今週の水曜日に、3年生は私立入試に向け願書を清書しました。まず先週のうちに願書のコピーに下書きしました。次に、本物の願書に鉛筆で薄く書き、その上からボールペンで清書をしました。学校毎に様式が違い、気をつけなければいけない事がたくさんあります。共通して大事なことは、自分の住所の番地を【島浦町643-3】ではなく、【島浦町643番地3】と、ハイフンではなく、番地をつけることです。住民票通りということです。合格を願い、慎重に書きました。

